

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 はれのくに岡山安心住宅

グループの名称 岡山やさしい家づくり倶楽部

直近採択グループ番号 04-0174-0607

(グループ代表者)

代表者名 城市 一成 代表者印

代表者所属先 株式会社木の城いちばん

代表者所在地 岡山県倉敷市堀南628番地12

代表者電話番号 086-426-9333

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社浅野材木店

事務局担当者名 浅野 裕三 印

事務局郵便番号 710-0803

事務局所在地 岡山県倉敷市中島2360

事務局電話番号 08-6465-8862

事務局FAX 08-6466-0602

事務局担当者E-mail asanoz-ke@mx91.tiki.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		33	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	33	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		29	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	29	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	6	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		12	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)				戸						
申請が未確定(上限100万円)		3	戸							
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		19	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	19	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	事前のヒヤリングにより、申請確実な物件に優先配分する。希望戸数が採択戸数を上回る場合は抽選とする。但し、配分後に一定期間を過ぎても申請に至らない場合は、次に申請が確実な事業者への配分若しくは抽選とする									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
	補正予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸		
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) はれのくに岡山安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県及びその隣県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 岡山やさしい家づくり倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0174-0607	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	脆い地盤が多い地域である為、地盤に対する安全性確保を重視し、地盤調査・地盤保障を義務付ける事により、『住まい手に安心を与える住宅』とすることを基本とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	日本でも有数の日照時間の長さを誇る地域特性を生かすために、太陽光発電システムをグループとして推進している。このことから新築やリフォーム時においても、太陽光発電システムを設置できるように耐荷重計算された屋根構造の推進を図る。(立地条件や施主の条件により除外あり)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	岡山県が推進する「おかやまユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、【暮らしやすい住宅の整備】として住宅の段差の解消や手すりの設置等により安心できる住環境の提供をグループとしてのデザインルールとして目指す。	○
④①～③の背景	岡山県は、年間降水量1mm以上の日が全国最小であり、年間を通して晴天日が多く日照時間も全国でも上位に位置するなど雨の少ない温暖な気候である。また、干拓地および埋め立て地の多くが、いわゆる海抜ゼロメートル地帯となっており、洪水や高潮による浸水の被害や、地震発生の軟弱地盤による液状化現象が懸念される。 また、「おかやまユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、ユニバーサルデザインの考え方を県のあらゆる施策に取り入れると共に、県民をはじめ、NPOや企業等全県的にその考え方の浸透を図り、誰もが生き活きと活躍できる“すべての人にとって暮らしやすいおかやまづくり”を推進している。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	『住まい手に、安心を与える住宅』であることを前提に、施工会社だけでなく第三者における定期点検サービスを義務付けることで、より充実したメンテナンス管理を実行する。	◎

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造部の柱を原則3・5寸角以上(省令準耐火仕様や特殊な仕様の場合は除く)とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省令準耐火構造の採用を推奨する。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: (現時点では対応できていないが、県産材による耐力壁の開発をグループ会員にて、提議中)	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局サポートで原木～施工までの商流を把握することで、事業推進に伴う手続きの合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 会の組織である「消費者研究部会」にて必要に応じて検討する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局及び事務局サポートは、施工の進捗状況等を共有する為に、メーリングリストを作成し、情報の一元化体制を構築する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBN又は、(一社)全国住宅産業地域活性化協議会が作成する「施工基準に関するマニュアル」をグループの基準とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)JBNの『木造住宅工事管理の実務』や、(一社)全国住宅産業地域活性化協議会が提供するJ-HOPコンテンツ(現場写真・工程管理ソフト『DoPhoto』等)を活用し、工程の進捗管理とチェックを明確にできるように推進する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通様式の見積書で作成した消費者に分かりやすい見積書の提出を推奨する。(見積書の一式計上を無くす) また、お施主様へ見積内容を理解頂いた事を確認する為、見積確認同意書(グループ共通書式)を作成する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し時に、お施主様に「はれのくに岡山安心住宅」認定書を発行する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) はれのくに岡山安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県及びその隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山やさしい家づくり倶楽部	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0174-0607	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報蓄積機関を利用し、新築時、定期点検時、リフォーム時の情報蓄積を行う。(長寿型のみ)	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証の「あんしんいえるて」又はJBNの「いえもりかるて」等を利用。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴の登録時に発行される「住宅履歴情報預り票」(写)を事務局に提出する事で確認を行う。	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による定期点検(2年、5年、10年)の実施。竣工時に10年間分の定期点検費用を事務局で預り金として管理し、都度支払いを行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による定期点検報告書の提出(提出先:事務局、施工業者、施主)後、施工業者、施主の意向によっては他の工事業者が補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による定期点検報告書の提出。(提出先:事務局、施工業者、施主)	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し時に「住まいの管理手帳」(JBN収監参照)に準じ、住まいのお手入れ方法の説明を行う。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工会員に対し、DIYや簡単な住まいのメンテナンスの体験会の実施を即す。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『やさしい家づくりフェア』等への動員と運動し、OB施主へのメンテフォロー等を継続提案実施	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の「グリーン化事業対応サポートチーム」にて、定期点検及び補修工事の状況や実施方法等について必要に応じ検討する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 廃業・倒産時の引継ぎ費用として1万円/物件の積立制度を実施。廃業・倒産時には、事務局サポート	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人による瑕疵事例とその対応等についての勉強会を開催する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店を対象に、JBN、住活協の講習や、グループ内の「住宅生産技術研究部会」「設計部会」を中心に行う施工技術者研修会の受講を促す。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店を中心に、設計・申請の流れや受注の為の営業研修を実施し長期優良住宅、ゼロエネ住宅の取組工務店を増やす。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工会員のレベルに応じた「ステップアップ研修」を実施継続。支援団体(JBN・住活協)主催の長期優良住宅、省エネ関係のセミナー受講の推進。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 岡山県林政課の協力の元、研修会、現場見学会へ未経験工務店を始め電気・左官等様々な職種の方に長期優良、ゼロエネ住宅の仕様を理解してもらい、現場での合理化に繋げる。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 38 今年度の参加目標人数 20	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 20	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講の施工会員へ事務局サポートより受講の案内を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の「消費者研究部会」にて新商品や新たな工法の情報収集を行い検討する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で県産材での耐力壁(例:どんとパネル)の開発提議中	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) はれのくに岡山安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県及びその隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山やさしい家づくり倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0174-0607	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) はれのくに岡山安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県及びその隣県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山やさしい家づくり倶楽部	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0174-0607	

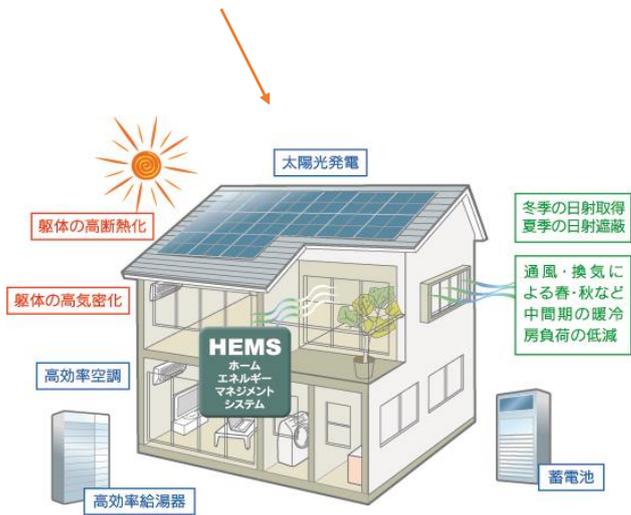
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【住宅用太陽光発電システム】
 ゼロ・エネルギー住宅 … 必須
 認定低炭素住宅 … 推奨
 性能向上認定住宅 … 推奨



【HEMS】と【蓄電池】は推奨

※ゼロ・エネルギー住宅の場合
【BELS】認証の取得
 平成28年度基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法

※ 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。